

令和 6 年 6 月 7 日現在

機関番号：32667

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2021～2023

課題番号：21K10220

研究課題名(和文) 小児の偏食改善を目的とした多職種連携型口腔機能改善アプローチへの新たな開発

研究課題名(英文) Development of a multi-disciplinary approach of oral function for improvement of picky eating

研究代表者

田村 文誉 (Tamura, Fumiyo)

日本歯科大学・生命歯学部・教授

研究者番号：60297017

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,100,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、2つのカテゴリーの研究を行なった。0～18歳未満までの小児当事者または保護者による口腔機能の困りごとに関するアンケートを行った結果、子どもが低年齢であるほど保護者支援が必要であることが示された。乗馬療法や海洋療法を応用した感覚運動プログラムを行なった。乗馬の開始時は交感神経優位であったが、慣れることでストレス指標が低くなる傾向が観察できた。2つの感覚運動プログラムを体験することで、感覚過敏の減少や、体幹保持能力、活動性の向上がみられ、保護者が感じる心配事も軽減する様子が見られた。プログラムの継続により、食事姿勢の改善、食嗜好の変化に良好な影響をもたらす可能性が期待された。

研究成果の学術的意義や社会的意義

小児の口腔機能発達不全症の症状のひとつに食行動の問題がある。偏食を初めとした食行動の問題は保護者の大きな関心事であり、育児ストレスの誘因になると考えられている。本研究において、小児の食の問題の実態をアンケートにより明らかにしたこと、また作業療法の分野で注目されている感覚運動アプローチを応用した海洋療法・乗馬療法を中心とした感覚-運動プログラムが、食や生活の行動変容に一定の変化を及ぼした結果は、摂食嚥下障害には該当しないが食の困難を抱えている健常児や発達障害児者への、新たなアプローチの可能性を示せたと考えられる。

研究成果の概要(英文)：Two categories of research were conducted in this study. (1) A questionnaire survey on oral function problems by pediatric patients or their guardians from 0 to under 18 years of age indicated that the younger the child, the more parental support was needed. (2) A sensory-motor program that applied the horse therapy and the marine therapy was conducted. The two sensory-motor programs reduced sensory hypersensitivity, improved trunk retention and activity, and reduced parental concerns. Continuation of the program was expected to have a positive impact on improving eating posture and changing food preferences.

研究分野：摂食嚥下リハビリテーション

キーワード：食の困難 発達障害 小児 感覚運動アプローチ 口腔機能 乗馬療法 海洋療法 保護者

1. 研究開始当初の背景

小児期は口腔の基本的な機能の獲得期であり、様々な口腔機能が健全に育まれることが重要となる。平成30年度、歯科では新病名として「口腔機能発達不全症」が新規の保険に収載された。口腔機能発達不全症とは、「食べる機能、話す機能、その他の機能が十分に発達していないか、正常に機能獲得が出来ておらず、明らかな摂食機能障害の原因疾患がなく、口腔機能の定型発達において個人因子、あるいは環境因子に専門的関与が必要な状態、と定義されている(日本歯科医学会)。子どもの摂食機能を始めた口腔機能の発達は保護者の心配事にも直結している。申請者らが実施した日本歯科医学会の調査では、保護者の多くが子どもの食の問題を感じており、最も多い心配事が「偏食」であった(田村・木本ほか, 2017)。口腔機能発達不全症は摂食嚥下機能の原因疾患を持たない一般小児を対象としているが、発達障害児や、診断されていないグレーゾーンの小児も一定数含まれていることが推察される。平成24年度に内閣府が行った調査では、知的発達に遅れはないものの、学習面、または行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒の割合は6.5%にみられたと報告されており、その推計値は年々増加している。また、平成28年度の生活のしにくさなどに関する調査(厚生労働省全国在宅障害児・者等実態調査)において、医師から発達障害と診断された者の数(推計値)は、481,000人にも上っていた。発達障害では感覚の過敏性が口腔に出ることも多く、食の困難を抱えているという報告がある(田部・高橋2015)。特に、偏食の問題は深刻であり、口腔機能の発達に重大な影響を及ぼし、低栄養による成長不良を引き起こす。さらに、乳幼児期には母親の育児困難感、そして年長になると本人の生きづらさに繋がるなど、社会性が損なわれる重大な問題である。自閉スペクトラム症児(以下、ASD児)の保護者のアンケートにおいても、「偏食」が子どもの食事の困りごとで多く挙げられていた(田村・辰野ほか, 2018)。また、偏食のある児は一定数感覚の過敏性を有しており、そうすると食に関する困難さ以外に、口腔清掃できない、歯科検診や歯科医院の場で口を開けられないなどの、歯科的な困りごとに関わり、う蝕や歯周病の悪化を引き起こしている場合も少なくない。

さらなる問題として、令和2年の初頭よりCOVID-19の感染拡大が起こったが、その自粛期間中に「食べられない。」「飲み込めない。」「食べられるものが限られて体重が減った。」といった心配ごとが生じて、研究代表者の勤務する医療機関に来院する健常児(定型発達児)が散見されるようになった。この場合も、通り一遍の食事指導では解決を見出すことは極めて難しく、各種専門領域の多職種との連携が必須となる。このように、食べることには多様な要因が影響しており、これまでにないアプローチ法が求められている。

2. 研究の目的

偏食が主訴で歯科を受診する小児の場合、口腔機能発達不全症での対応になることが多い。口腔機能発達不全症の一部の対象者には発達障害児が含まれると推察されるが、その有症率は明らかでない。そこでまず、健常児と発達障害児における偏食の有症率を明らかにする。これまでに、偏食の問題に対する効果的なアプローチ法は見出されていない。一般的な偏食への指導では、対象となる児の特性によっては効果がないばかりか、かえって偏食を助長する結果になる恐れもあり、当事者や保護者の困りごとは長期に解決しないことが報告されている(田部・高橋, 2015)。発達障害児の偏食には、感覚処理過程の問題(感覚過敏・鈍麻)自律神経系の不全など、多くの因子が関与しており、一般的なアプローチを見直す必要に迫られている。一方、子どもの発達には「遊び」の要素が重要である。作業療法の分野では、子どもの発達・発育の促進に、感覚運動アプローチを根底にした遊びの手法が用いられている。これまで、口腔機能発達不全症での管理指導や、摂食嚥下リハビリテーションには遊びの要素を取り入れた対応法はみられず、強制的な訓練となる場合もあり、本人や家族の負担になることも少なくなかった。一方、わが国では療育やリハビリテーションの分野において、感覚-運動アプローチが実践されてきた(川嶋ら, 2012, 2017・中村, 儀間, 森川ら, 2017)。これらは自律神経系を整え、交感神経を抑制する効果があるとされ、感覚運動系に正の効果が期待される。また、口腔機能の発達には粗大運動の発達が関連しており(大岡ら, 2005・村田ら, 2013)、体幹コントロールを高めることの出来る感覚-運動アプローチの手法は、口腔機能や食の問題を解決するために有効であると考えた。本研究において、子どもが「楽しい。」と思える遊びの要素を取り入れた感覚-運動アプローチによる感覚運動系への刺激が、発達障害児の口腔機能の発達、特に偏食の改善に効果があるかを検証することは、口腔機能発達の支援において、これまでにない極めて重要な取り組みである。

3. 研究の方法

研究 小児の食の問題に関するアンケート

研究者の関係する、東京都・京都府・広島県・沖縄県の保育園、幼稚園、学校等の639施設にアンケートの回答への協力を求め、本調査の主旨に賛同し、承諾の得られた0歳から18歳まで

の小児の保護者または本人を対象とした。

アンケートの内容は、研究者がこれまで行なった小児の食の問題に関する調査内容(文献入れる)をもとにし、「口腔機能発達不全症」のチェックリスト(日本歯科医学会 HP <<https://www.jads.jp/assets/pdf/basic/r06/document-240402-2.pdf>>)で挙げられている項目を含めたものを作成した。協力施設に対し、本調査の主旨と内容を説明した用紙を配布し、説明用紙に示した QR コードまたは URL から、回答者個人が web 上のアンケートに直接アクセスしてもらい、回答する方法をとった。未就学児の場合は保護者に回答を求めた。小学生以上の場合には本人、または、本人に確認しながら保護者が回答する方法を依頼した。調査結果について、要因の分析を行なうための統計解析には IBM spss ver. 25 を用い、検討を行なった。

調査期間は 2021 年 7 月～2022 年 2 月 28 日である。有効回答は 1,974 件であった。内訳は、哺乳期から離乳完了期群(0 歳～1 歳半)が 103 件、離乳完了後から就学前群(1 歳半～小学校入学前)が 1,269 件、学童期群(小学生以上高校生まで)592 件であった。

研究 感覚運動プログラムの効果検証

対象は、当クリニックの偏食外来を受診し、感覚運動プログラムとして実施する乗馬療法と海洋療法の 2 つのプログラムへの参加を希望した児者とその家族である。

本研究の主旨について保護者に説明を行ない、口頭と書面で同意を得た。一連の食行動の改善を目的とした取り組みのうち、対象 A と B については、最終段階で行なわれた乗馬療法・海洋療法を含むプログラムについて検証した。プログラムによる本人および家族の変化については高橋ら 1) が作成した食の困難チェックリストを用い、本人の感覚については「感覚評価(JSI R 簡易版)」を用いて評価した。また、プログラムの終了後に保護者が行なった自由記載のアンケートの内容について、成分分析を行った。対象 C・G については、摂食指導に合わせて乗馬療法のみ行なったため、その前後での食の困難チェックリストの評価を行なった。

また、乗馬療法が自律神経系へ及ぼす影響については、ウェアラブル心拍センサ WHS-1(my Beat, ユニオンツール株式会社,東京)を用いて、心拍数(RPI: R 波の間隔)と交感神経の指標 LF(low frequency; 0.04~0.15 Hz の低周波)を副交感神経活動の指標 HF(high frequency; 0.15~0.40 Hz の高周波)で割った LF/HF(ストレス指標: 交感神経の活性度)で確認した。乗馬中には、簡単なストレッチなど身体を動かすプログラムを行い、馬に慣れること、馬の上でバランスを保つことを行った。

仮説として、「中枢機能に障害のある児者は、固有感覚や前庭感覚を含めた身体(感覚・運動)機能の障害を有していることが多いのではないか」、「固有感覚や前庭感覚及び触覚等の感覚入力改善により食行動に好影響が表れるのではないか」の 2 つをたて、検証を行なった。

4. 研究成果

研究

出生から離乳完了期群では、口腔過敏を疑わせる症状が認められた場合、離乳食に対する心配事が多くなる傾向であった。離乳完了後から就学前群では、心身になんらかの不調、遅れ、障害がある場合、咀嚼機能への影響が生じる可能性がうかがわれた。小学校入学から高校群では、障害の有無にかかわらず、全体的に食行動や咀嚼についての困りごとが多い傾向であった。構音については、支援学級や支援学校でその割合が高く、言語聴覚士と協働することの必要性が示された。口腔機能の困りごとについて、歯科を含めた専門職に相談する者の割合が少なかったことは、看過できない問題である。歯科が、小児の口腔機能の困りごとを支援するためには、歯科が食べる機能の専門家であることを広く国民に周知すること、そして食べる機能の主訴を拾い上げ適切に対応すること、そのためには口腔機能発達不全症や摂食機能療法が必要な小児に対し積極的に診療する体制を整えることが必要と考えられた。

研究

感覚運動プログラムの乗馬療法において、乗馬前は交感神経優位だったが、乗馬により副交感神経とのバランスがとれ、ストレス指数が減少した。また、乗馬療法と海洋療法を受けた者の保護者アンケートの成分分析(自由記載)では、いずれもポジティブな言葉が多く抽出されていたことから、感覚運動プログラムが、被験児や保護者にとって良い効果があったことが確認された。

2 つの感覚運動プログラムを体験することによって、感覚過敏の減少や、体幹保持能力、活動性の向上がみられ、保護者が感じる心配事も軽減する様子がうかがわれた。そのため、プログラムの継続により、食事姿勢の改善、食嗜好の変化に良好な影響をもたらす可能性が期待された。

<引用文献>

田部絢子, 高橋 智著: 発達障害等の子どもの食の困難と発達支援, 風間書房, 東京, 2019

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計66件（うち査読付論文 15件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Tamura F, Kikutani T, Machida R, Isoda T, Hobo K, Yamada H, Kodama M, Genkai S, Mizukami M, Sakuda T, Furuya H	4. 巻 38
2. 論文標題 Usefulness of Telemedicine for Disabled Children Receiving Feeding Therapy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Dysphagia	6. 最初と最後の頁 425-434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00455-022-10482-w. Epub 2022 Jun 29.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Takahashi N, Kikutani T, Ebihara K, Genkai S, Takahashi I, Kodama M, Machida R, Tohara T, Tamura F	4. 巻 44
2. 論文標題 Factors associated with the maintenance in food texture for dependent older people with dysphagia living in nursing home; A retrospective cohort study.	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Spec Care Dentist	6. 最初と最後の頁 886-892
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/scd.12937	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 山田裕之, 田村文誉, 加藤 篤, 石黒 光, 江草正彦, 尾崎由衛, 玄 景華, 小坂美樹, 後藤申江, 高井理人, 野本たかと, 弘中祥司, 町田麗子	4. 巻 43
2. 論文標題 障害児の触覚過敏の困りごとに関する保護者アンケート	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 障歯誌	6. 最初と最後の頁 155-162
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14958/jjsdh.43.155	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 田村文誉	4. 巻 16
2. 論文標題 小児在宅歯科医療のいま、これから	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 社会歯科学雑誌	6. 最初と最後の頁 28-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉、加藤篤、石黒光、町田麗子、山田裕之、猪狩和子	4. 巻 44
2. 論文標題 触圧覚過敏の脱感作に関する新たな方法の開発と有効性の検討 肢体不自由児における触圧覚過敏の脱感作の検証	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 障歯誌	6. 最初と最後の頁 115-121
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tamura F, Machida R, Yamada H, Isoda T, Takahashi N, Mizukami M, Ozeki M, Kikutani T	4. 巻 10
2. 論文標題 Dental Support for Feeding Function in Children	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Current Oral Health Reports	6. 最初と最後の頁 75-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s40496-023-00337-0	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 菊谷武、吉田光由、田村文誉、磯田友子	4. 巻 187
2. 論文標題 舌圧を知って健康につなげる 舌圧測定の医技と、新しいトレーニングデバイス	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 GC CIRCLE	6. 最初と最後の頁 4-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 加藤陽子、田村文誉、高橋賢晃、水上美樹、菊谷武	4. 巻 44
2. 論文標題 重度嚥下障害を有する脳性麻痺児に干渉波電気刺激法を併用した摂食機能療法を行い一部経口摂取にいたった一例	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 障歯誌	6. 最初と最後の頁 166-172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 281
2. 論文標題 8020の里づくり「食べる」を育む	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 地域保健福祉情報誌 親子保健	6. 最初と最後の頁 6-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智、田部絢子、能田昴、内藤千尋、石井智也、石川衣紀、池田敦子	4. 巻 26
2. 論文標題 子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる 子どものコロナ禍後遺症と発達の困難・リスクの動向	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 「チャイルド・サイエンス」日本こども学会	6. 最初と最後の頁 11-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀、田部絢子、能田昴、石井智也、内藤千尋、池田敦子、高橋智	4. 巻 29
2. 論文標題 コロナ禍のスウェーデンにおける子どものメンタルヘルス問題の動向と発達支援の課題 児童思春期精神障害中間ケア施設「BUP Mellanvard NV」の訪問調査を通して	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 『SNEジャーナル』日本特別ニーズ教育学会	6. 最初と最後の頁 113-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋、石井智也、田部絢子、石川衣紀、池田敦子、能田昴、高橋智	4. 巻 18
2. 論文標題 スウェーデンの就学前学校における特別ニーズ教育の動向と実際 特別ニーズ教育を実施する就学前学校3校の訪問調査から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 山梨障害児教育学研究紀要	6. 最初と最後の頁 21-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智、石井智也	4. 巻 107
2. 論文標題 昭和戦前期の旧制中学校生徒の有する多様な「学習・生活・健康等の困難」の教育史的検討	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 179-193
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井智也、田部絢子、内藤千尋、石川衣紀、能田昴、池田敦子、高橋智	4. 巻 64
2. 論文標題 スウェーデンの国民大学と障害当事者の継続教育・成人教育・生涯学習支援の動向：訪問調査から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 兵庫教育大学研究紀要	6. 最初と最後の頁 61-76
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀、高橋智	4. 巻 10
2. 論文標題 戦前における鈴木治太郎の知能測定法の標準化の検討	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 2--32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子、石井智也、内藤千尋、能田昴、石川衣紀、池田敦子、高橋智	4. 巻 16
2. 論文標題 スウェーデンのインクルーシブ教育と聴覚障害児教育の動向 ストックホルム市アルヴィーク基礎学校「聴覚障害クラス」の訪問調査を通して	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	6. 最初と最後の頁 97-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子、高橋智	4. 巻 51
2. 論文標題 発達障害等の発達特性を有する子どもの食の困難と発達支援	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 障害者問題研究	6. 最初と最後の頁 9-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智、田部絢子、能田昴、内藤千尋、石井智也、石川衣紀、池田敦子	4. 巻 106
2. 論文標題 北欧諸国における子どもの「コロナ後遺症」問題と発達困難・リスクに関する議論の動向	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 217-233
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昴、田部絢子、石井智也、内藤千尋、池田敦子、石川衣紀、高橋智	4. 巻 85
2. 論文標題 スウェーデンのインクルーシブ教育と知的障害教育問題の動向 スウェーデンの知的障害当事者組織「BUP Mellanvard NV」への訪問調査から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 117-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子	4. 巻 65
2. 論文標題 発達障害当事者が有する食の困難と課題 傾聴と対話で支援する	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 保健の科学	6. 最初と最後の頁 436-441
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋、田部絢子、高橋智	4. 巻 69
2. 論文標題 少年院における発達上の課題・困難を有する少年の修学・移行支援の課題 少年院在院者への継続的な面接法調査から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 矯正教育研究	6. 最初と最後の頁 76-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子、酒井愛瑠、高橋智	4. 巻 16
2. 論文標題 食の困難を有する子ども・家族の実態と発達支援の課題 全国の児童発達支援センターの職員調査から	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	6. 最初と最後の頁 81-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田裕之、田村文誉、佐藤志穂、花形哲夫、平林正裕、菊谷 武	4. 巻 35
2. 論文標題 成人期における口腔機能発達不全の実態調査	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 口腔リハビリ誌	6. 最初と最後の頁 12-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 37
2. 論文標題 口腔機能発達不全症の診断に該当する成人の問題とは	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 老年歯学	6. 最初と最後の頁 198-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 39
2. 論文標題 内科医が知っておきたい摂食・嚥下障害 小児の摂食嚥下障害	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Medical Practice	6. 最初と最後の頁 1017-1020
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 31
2. 論文標題 医療的ケア児と小児在宅歯科診療の現状	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日有病歯誌	6. 最初と最後の頁 74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 1月号
2. 論文標題 医療的ケア児の歯の健康を保護者と二人三脚で守る	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 厚生労働	6. 最初と最後の頁 22-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 5
2. 論文標題 小児在宅に歯科が関わる意義と課題、特集 妊産婦ケア・口腔機能発達不全症・発達障害・医療的ケア時の診療等 小児歯科の新しいテーマと対策	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 DENTAL VISION	6. 最初と最後の頁 22-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉, 加藤 篤, 村上旬平	4. 巻 28
2. 論文標題 「Down症候群の歯科診療における診断と処置方法ガイドライン2022」を知る 早期老化予防のためのガイドライン策定	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 小児歯科臨床	6. 最初と最後の頁 57-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智	4. 巻 50
2. 論文標題 スウェーデンにおける病気の子どもの教育ケアの動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 障害者問題研究	6. 最初と最後の頁 43-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂, 田部絢子, 石井智也, 石川衣紀, 内藤千尋, 池田敦子, 柴田真緒, 高橋智	4. 巻 83
2. 論文標題 デンマークにおける病気の子どもの特別教育システムの動向 歴史的変遷と現行の特別教育制度を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 17-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井智也, 田部絢子, 能田昂, 石川衣紀, 内藤千尋, 池田敦子, 柴田真緒, 高橋智	4. 巻 83
2. 論文標題 デンマークにおける病気の子どもの特別教育の実際	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 尚綱学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 33-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀, 田部絢子, 石井智也, 内藤千尋, 池田敦子, 柴田真緒, 能田昂, 高橋智	4. 巻 21
2. 論文標題 特別支援教育におけるICT利活用に関する動向と課題 視覚障害・聴覚障害教育を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 125-134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀, 田部絢子, 内藤千尋, 石井智也, 池田敦子, 能田昂, 柴田真緒, 高橋智	4. 巻 21
2. 論文標題 特別支援教育におけるICT利活用に関する動向と課題 知的障害・発達障害・肢体不自由教育を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部教育実践研究紀要	6. 最初と最後の頁 136-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智, 田部絢子, 石井智也, 内藤千尋, 能田昂, 石川衣紀, 池田敦子, 柴田真緒	4. 巻 104
2. 論文標題 特別支援教育におけるICT利活用に関する動向と課題 病弱教育を中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 289-302
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智	4. 巻 28
2. 論文標題 特別ニーズ教育の「特別ニーズ」についての学史的検討 SNE学会設立10年間の議論のレビューから	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 5-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂, 高橋智	4. 巻 28
2. 論文標題 スペイン風邪パンデミック (1918-1920) における日本の子どもと学校教育	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 123-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子, 高橋智	4. 巻 28
2. 論文標題 コロナ禍における子どもの食の困難・リスクに関する動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本特別ニーズ教育学会	6. 最初と最後の頁 136-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智, 田部絢子	4. 巻 55
2. 論文標題 高校の特別支援教育の進捗状況と課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊高校教育	6. 最初と最後の頁 22-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂, 田部絢子, 石井智也, 石川衣紀, 内藤千尋, 池田敦子, 柴田真緒, 高橋智	4. 巻 84
2. 論文標題 新型コロナ後遺症 (Long COVID) と子どもの発達困難・リスクに関する研究動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 尚絅学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 51-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井智也, 内藤千尋, 田部絢子, 石川衣紀, 能田昂, 池田敦子, 柴田真緒, 高橋智	4. 巻 16
2. 論文標題 スウェーデンのインクルーシブ教育における視覚障害児教育の動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 137-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井智也, 内藤千尋, 田部絢子, 石川衣紀, 能田昂, 池田敦子, 柴田真緒, 高橋智	4. 巻 16
2. 論文標題 デンマークのインクルーシブ教育における視覚障害児教育の動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海学院大学紀要	6. 最初と最後の頁 129-136
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智・田部絢子・柴田真緒・石川衣紀・内藤千尋・能田昂	4. 巻 105
2. 論文標題 コロナ禍における子どもの「生活・学習・発達」の困難と支援ニーズ 全国の小中高高校生調査から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 1-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川衣紀, 池田敦子, 田部絢子, 石井智也, 内藤千尋, 能田昂, 柴田真緒, 高橋智	4. 巻 9
2. 論文標題 コロナ禍と障害を有する子どもの「いのち・生活・発達」の困難・リスクに関する動向 肢体不自由・重症心身障害・病弱を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 長崎大学教育学部紀要	6. 最初と最後の頁 79-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子・石井智也・柴田真緒・内藤千尋・能田昂・石川衣紀・池田敦子・高橋智	4. 巻 15
2. 論文標題 コロナ禍と障害を有する子どもの「いのち・生活・発達」の困難・リスクに関する動向 知的障害・発達障害を中心に	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	6. 最初と最後の頁 39-55
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内藤千尋, 田部絢子, 高橋智	4. 巻 68
2. 論文標題 少年院における発達上の課題・困難を有する少年の発達支援に係る研究動向	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 矯正教育研究	6. 最初と最後の頁 90-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂, 田部絢子, 高橋智	4. 巻 25
2. 論文標題 アイスランドにおけるコロナ禍に伴う子どもの発達リスクと学校教育の動向	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 チャイルド・サイエンス	6. 最初と最後の頁 46-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子、高橋智	4. 巻 27 (1)
2. 論文標題 自閉スペクトラム症と食の困難に関する研究動向	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 147-157
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 坂口めぐみ、田部絢子、柴田真緒、高橋智	4. 巻 27(1)
2. 論文標題 中学生における食・睡眠の困難と心身の不調 中学生調査から	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 118-132
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 能田昂、石川衣紀、田部絢子、高橋智	4. 巻 27(1)
2. 論文標題 スウェーデンにおけるコロナ禍と子どもの発達危機に関する動向	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 SNEジャーナル	6. 最初と最後の頁 158-168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田部絢子、坂口めぐみ、柴田真緒、高橋智	4. 巻 14
2. 論文標題 高校生における食・睡眠の困難と心身の不調 高校生調査から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 金沢大学人間社会研究域学校教育系紀要	6. 最初と最後の頁 73-85
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋智、能田昂、石川衣紀、石井智也、田部絢子	4. 巻 103
2. 論文標題 北欧諸国のコロナ禍における子どもの発達危機と発達支援に関する動向 ノルウェー・フィンランドを中心に	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本大学文理学部人文科学研究所紀要	6. 最初と最後の頁 135-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 池田敦子、高橋智	4. 巻 7
2. 論文標題 自傷・摂食障害等の生きづらさを抱える若者の生い立ちと発達の自立の過程	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海学院大学研究年報	6. 最初と最後の頁 57-64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石井智也、能田昴、田部絢子、高橋智	4. 巻 7
2. 論文標題 デンマークにおけるコロナ禍と子どもの「いのち・生活・発達の危機」に関する動向	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 東海学院大学研究年報	6. 最初と最後の頁 101-109
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉、加藤篤、石黒光、江草正彦、尾崎由衛、玄景華、小坂美樹、後藤申江、高井理人、弘中祥司、野本たかと、町田麗子、山田裕之	4. 巻 42
2. 論文標題 日本障害者歯科学会会員における触覚過敏の脱感作法の臨床と教育について	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障歯誌	6. 最初と最後の頁 73-83
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 駒形悠佳、山田裕之、田村文誉、保母妃美子、礪田友子、田中祐子、西澤加代子、水上美樹、菊谷 武	4. 巻 42
2. 論文標題 摂食嚥下専門外来において口腔機能発達不全症と診断された患者の実態調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障歯誌	6. 最初と最後の頁 196-202
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉、木本茂成、弘中祥司、水上美樹、田沼直之、小林隆太郎、住友雅人	4. 巻 138
2. 論文標題 小児期の口腔機能発達を支援するために「お口の発達サポート」キャラクター・ハピルちゃん誕生までの歩み	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 歯界展望	6. 最初と最後の頁 869-872
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山田裕之、田村文誉、菊谷武	4. 巻 42
2. 論文標題 遅発型Pompe病を発症した小児の構音障害に対してLPを応用した一例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障歯誌	6. 最初と最後の頁 60-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高井理人、田村文誉、菊谷武、小方清和、大島昇平、八若保孝	4. 巻 42
2. 論文標題 小児在宅歯科医療に関する全国調査	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 障歯誌	6. 最初と最後の頁 91-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 柴崎育美、磯田友子、田村文誉、西澤加代子、菊谷武	4. 巻 34
2. 論文標題 自閉スペクトラム症児の偏食改善に対して摂食機能療法が奏功した一例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 口腔リハビリ誌	6. 最初と最後の頁 58-63
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 5
2. 論文標題 食べることへの支援	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 発達協会	6. 最初と最後の頁 4-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 582
2. 論文標題 第3回JSD乳幼児オンライン勉強会より「食べる機能の育て方」前編	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JDSnews	6. 最初と最後の頁 16-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 583
2. 論文標題 第3回JSD乳幼児オンライン勉強会より「食べる機能の育て方」後編	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 JDSnews	6. 最初と最後の頁 16-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉、白瀬敏臣	4. 巻 196(15)
2. 論文標題 特集 その患者さん、ADHDかも？	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Dhstyle	6. 最初と最後の頁 17-32
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 94
2. 論文標題 口腔機能の発達について 「摂食機能発達のマイルストーン」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 保育と保健ニュース	6. 最初と最後の頁 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田村文誉	4. 巻 95
2. 論文標題 口腔機能の発達について 「口腔機能発達不全症と摂食嚥下障害」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 保育と保健ニュース	6. 最初と最後の頁 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計53件 (うち招待講演 17件 / うち国際学会 4件)

1. 発表者名 駒形悠佳, 山田裕之, 田村文誉
2. 発表標題 小学生から高校生の口腔機能に関する主観的評価
3. 学会等名 第61回日本小児歯科学会総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 元開早絵, 町田麗子, 鰐原賀子, 田村文誉, 菊谷 武
2. 発表標題 咽喉マイクを用いて聴覚的フィードバックを行うことで嚥下躊躇が改善した先天性ミオパチー児の一症例
3. 学会等名 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 町田麗子, 田村文誉, 児玉実穂, 元開早絵, 柴崎育美
2. 発表標題 食塊のため込みの改善に難渋した小児摂食機能障害の1例
3. 学会等名 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 町田麗子, 児玉実穂, 田村文誉
2. 発表標題 小児在宅歯科医療における 摂食嚥下リハビリテーションを実施した 歯科 歯科連携の一例
3. 学会等名 第12回日本小児在宅医療支援研究会 学術集会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 元開早絵, 町田麗子, 児玉実穂, 高橋育美, 田村文誉, 菊谷 武
2. 発表標題 歯科訪問診療での摂食指導を長期間継続することにより一部経口摂取が可能となった先天性ミオパチー児の一症例
3. 学会等名 第37回日本口腔リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Kato Y, Tamura F, Takahashi N, Yamada H, Isoda T, Hobo K, Furuya H, Mizukami M, Kikutani T
2. 発表標題 Characteristics of the initial status of patients who requested pediatric feeding therapy in the dental clinic
3. 学会等名 The 1st International Conference of the Asian Dysphagia Society (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 児玉実穂, 町田麗子, 元開早絵, 田村 文誉
2. 発表標題 感覚過敏のある障害児への摂食機能療法の介入により固形物の摂取が可能となった一症例
3. 学会等名 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 水越新人, 高橋賢晃, 田村文誉, 山田裕之, 富田浩子, 菊谷 武
2. 発表標題 医療ソーシャルワーカーが社会的処方により患者および家族の包括的支援を行いIQOL向上に結び付いた1症例
3. 学会等名 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 元開早絵, 町田麗子, 児玉実穂, 鰐原賀子, 高橋育美, 田村文誉
2. 発表標題 歯科訪問診療において摂食機能療法を継続した重症心身障害児の全身状況と摂食嚥下機能発達変化の検討
3. 学会等名 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村文誉, 水上美樹, 山田裕之, 加藤陽子, 田中祐子, 礪田友子, 保母妃美子, 駒形悠佳, 高橋賢晃, 市川陽子, 西澤加代子, 作田妙子, 菊谷 武
2. 発表標題 食行動の問題の改善を目的に感覚運動プログラムを行った事例
3. 学会等名 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 山田裕之, 田村文誉, 磯田友子, 古屋裕康, 保母妃美子, 高橋賢晃, 加藤陽子, 駒形悠佳, 水上美樹, 作田妙子, 田中祐子, 富田浩子, 菊谷 武
2. 発表標題 摂食嚥下障害を専門とする歯科クリニックの小児歯科訪問診療の実績と傾向
3. 学会等名 第40回日本障害者歯科学会総会および学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 小児在宅歯科医療のいま、これから
3. 学会等名 第8回社会歯科学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 子どもの食べる機能の障害とハビリテーション
3. 学会等名 第70回日本栄養改善学会学術総会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 小児の摂食嚥下への関わり方 NICUから一般診療・在宅まで 「経管依存から経口移行への取り組み」
3. 学会等名 第29回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 「認定歯科衛生士研修セミナー」「障がい児の口腔機能」
3. 学会等名 日本小児歯科学会北日本地方会大会41回（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 町田麗子, 田村文誉, 菊谷 武
2. 発表標題 発達期の障害児者に対する オンラインを用いた摂食機能療法
3. 学会等名 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 委員会企画 診療ガイドライン作成委員会「Down症候群の歯科診療における診断と処置方法ガイドライン2022の活用について」
3. 学会等名 第40回日本障害者歯科学会総会及び学術大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 摂食機能から考える離乳の進め方
3. 学会等名 日本小児医療保健協議会第18回子どもの食育を考えるフォーラム（招待講演）
4. 発表年 2024年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 口腔機能の発達と離乳の進め方
3. 学会等名 日越外交50周年記念事業「The First 1,000daysの母子栄養ケアに関する日越合同シンポジウム」(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 水上美樹、鈴木厚子、吉本美枝、田中恵、田中祐子、田村文誉、小坂美樹、菊谷武
2. 発表標題 在宅で療養する医療的ケア児者に関する歯科衛生士の実態調査
3. 学会等名 第18回日本歯科衛生学会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石川衣紀、田部絢子、石井智也、能田昴、内藤千尋、池田敦子、高橋智
2. 発表標題 コロナ禍のスウェーデンにおける子どものメンタルヘルス問題の動向と発達支援の課題 児童思春期精神障害中間ケア施設「BUP Mellanvard NV」の訪問調査を通して
3. 学会等名 日本特殊教育学会第61回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 内藤千尋、田部絢子、石井智也、能田昴、石川衣紀、池田敦子、高橋智
2. 発表標題 スウェーデンの就学前学校における特別ニーズ教育の動向と実際 特別ニーズ教育を実施する就学前学校3校の訪問調査から
3. 学会等名 日本特殊教育学会第61回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 能田昴、田部絢子、石井智也、内藤千尋、池田敦子、石川衣紀、高橋智
2. 発表標題 北欧諸国における子どものコロナ後遺症問題と発達困難・リスクの動向
3. 学会等名 日本特殊教育学会第61回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石井智也、田部絢子、内藤千尋、能田昴、石川衣紀、池田敦子、高橋智
2. 発表標題 スウェーデンのインクルーシブ教育と聴覚障害教育の動向 ストックホルム市アルヴィーク基礎学校 (Alviksskolan) 聴覚障害クラスの訪問調査を通して
3. 学会等名 日本特殊教育学会第61回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 高橋智、田部絢子、能田昴、内藤千尋、石井智也、石川衣紀、池田敦子
2. 発表標題 【ラウンドテーブル】子どもは現在もコロナ禍の最前線にいる：コロナ禍後遺症と発達困難・リスクの動向
3. 学会等名 日本子ども学会学術集会第19回こども学会議（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 内藤千尋、田部絢子、高橋智
2. 発表標題 戦前における鈴木治太郎の知能測定法の標準化実験の検討
3. 学会等名 日本矯正教育学会第59回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石井智也、高橋智
2. 発表標題 昭和戦前期の旧制中学校生徒の有する多様な「学習・生活・健康等の困難」の教育史的検討
3. 学会等名 日本特別ニーズ教育学会第29回研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石川衣紀、高橋智
2. 発表標題 戦前における鈴木治太郎の知能測定法の標準化実験の検討
3. 学会等名 日本特別ニーズ教育学会第29回研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 内藤千尋、田部絢子、高橋智
2. 発表標題 少年院における発達困難を有する少年の就学支援・移行支援の課題 少年院在院者への継続的な面接法調査から
3. 学会等名 日本特別ニーズ教育学会第29回研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 高橋智、井智也、田部絢子、内藤千尋、石川衣紀、池田敦子、能田昴
2. 発表標題 スウェーデンの国民大学と障害当事者の生涯学習支援の動向
3. 学会等名 日本発達障害学会第58回研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 石川衣紀、高橋智
2. 発表標題 アルフレッド・ビネ (Alfred Binet) 研究の現在
3. 学会等名 日本発達障害学会第58回研究大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田部絢子、能田昴、石井智也、内藤千尋、石川衣紀、池田敦子、高橋智
2. 発表標題 スウェーデンのインクルーシブ教育と知的障害教育問題の動向 スウェーデンの知的障害当事者組織「BUP Mellanvard NV」への訪問調査から
3. 学会等名 日本特殊教育学会第61回大会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 井澤信三、田部絢子、田中恭子、西牧謙吾、野呂文行、高橋智
2. 発表標題 【理事会企画シンポジウム】コロナ禍と特別支援教育 これまでとこれから
3. 学会等名 日本特殊教育学会第61回大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 高橋智、田部絢子、能田昴、内藤千尋、石井智也、石川衣紀、池田敦子
2. 発表標題 【ラウンドテーブル】コロナ禍と子どもの発達困難・リスクの教育的検討
3. 学会等名 日本教育学会第82回大会 (招待講演)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 医療的ケア児と小児在宅歯科診療の現状
3. 学会等名 第31回(一社)日本有病者歯科医療学会学術大会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 小児在宅歯科医療について
3. 学会等名 第12回中国地方障害者歯科臨床研究会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 口腔機能発達不全症の診断に該当する成人の問題とは
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第33回学術大会(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fumiyo Tamura
2. 発表標題 Introduction of swallowing disorders of the children
3. 学会等名 2022 New Southboud Special Needs Oral Care Resource and Integration Project-International Symposium on Oral Health(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fumiyo Tamura
2. 発表標題 Introduction to swallowing disorders of children
3. 学会等名 Taiwan Association of Disability and Oral Health 2022 Annual Meeting (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 障害児の窒息予防～安全においしく食べる～
3. 学会等名 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会 (招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 触圧覚の脱感作に関する新たな方法の開発と有効性の検討
3. 学会等名 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 元開早絵, 町田麗子, 児玉美穂, 田村文誉, 古屋裕康, 新藤広基, 伊藤瑞希, 菊谷 武
2. 発表標題 在宅訪問における摂食機能療法を行った重症心身障害児の初診時全身状況と摂食嚥下機能発達状況の検討
3. 学会等名 第39回日本障害者歯科学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 水上美樹、鈴木厚子、吉本美枝、田中 恵、田村文誉、小坂美樹、菊谷 武
2. 発表標題 在宅で療養する医療的ケア児者に関する歯科衛生士の実態調査
3. 学会等名 日本歯科衛生学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田中恵, 水上美樹, 吉本美枝, 鈴木厚子, 田中祐子, 小坂美樹, 田村文誉, 菊谷 武
2. 発表標題 在宅で医療的ケアを受けている障害児者に関わる歯科衛生士の業務実態と課題
3. 学会等名 第39回日本障害者歯科学会総会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田裕之, 駒形悠佳, 田村文誉
2. 発表標題 口腔機能発達不全症と診断した小児の実態調査
3. 学会等名 小児歯科学会60回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田裕之, 田村文誉, 駒形悠佳, 保母妃美子, 新藤広基, 佐藤志穂, 平林正裕, 花形哲夫, 菊谷 武
2. 発表標題 成人期における口腔機能発達不全の実態調査
3. 学会等名 日本老年歯科医学会第33回総会・学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 作田妙子, 田村文誉, 山田裕之, 田部絢子, 高橋 智, 田中祐子, 水上美樹, 菊谷 武
2. 発表標題 0歳から1歳半児の保護者における子どもの口腔機能発達に関する主観的評価
3. 学会等名 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山田裕之, 田村文誉, 作田妙子, 水上美樹, 田中祐子, 礪田友子, 保母妃美子, 宮城 航, 菊谷 武
2. 発表標題 1歳半から6歳児の口腔機能発達に関する保護者の主観的評価に関するアンケート
3. 学会等名 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 礪田友子, 田村文誉, 山田裕之, 高橋賢晃, 保母妃美子, 駒形悠佳, 水上美樹, 加藤陽子, 佐藤志穂, 作田妙子, 田中祐子, 西澤加代子, 菊谷 武
2. 発表標題 摂食嚥下障害専門外来における偏食に対する取り組み
3. 学会等名 第39回日本障害者歯科学会総会および学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 町田麗子, 児玉実穂, 元開早絵, 高橋育美, 田村文誉, 菊谷 武
2. 発表標題 重度摂食嚥下障害を有する医療的ケア児への歯科訪問診療における摂食機能療法の課題
3. 学会等名 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 作田妙子、田村文誉、高橋智、田部絢子、山田裕之、水上美樹、菊谷武
2. 発表標題 0歳から1歳半までの乳児における食の問題に関する保護者の意識調査
3. 学会等名 日本摂食嚥下リハビリテーション学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 「口腔機能発達不全症の基礎と臨床」こどもの口腔機能の診かた
3. 学会等名 第59回日本小児歯科学会大会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 田村文誉
2. 発表標題 乳幼児の歯や口の機能の発達とその支援について
3. 学会等名 第68回日本小児保健協会学術集会（招待講演）
4. 発表年 2021年

〔図書〕 計13件

1. 著者名 菊谷武、小坂美樹、田村文誉	4. 発行年 2023年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 62
3. 書名 歯科訪問診療ハンドブック 小児から高齢者まで全世代に対応するための心得	

1. 著者名 田村文誉	4. 発行年 2024年
2. 出版社 永末書店	5. 総ページ数 30
3. 書名 歯科衛生学辞典第2版	

1. 著者名 田村 文誉	4. 発行年 2023年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 17
3. 書名 赤ちゃんが自分で食べていくためのサポートガイド 摂食機能発達のための口・手・こころの育て方	

1. 著者名 田村文誉、山田裕之	4. 発行年 2024年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 14
3. 書名 最新言語聴覚学講座 臨床歯科医学・口腔外科学	

1. 著者名 田村文誉	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京医学社	5. 総ページ数 7
3. 書名 191の疑問に答える 周産期の栄養	

1. 著者名 山田裕之, 田村文誉	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東京医学社	5. 総ページ数 2
3. 書名 191の疑問に答える 周産期の栄養	

1. 著者名 田村文誉	4. 発行年 2022年
2. 出版社 照林社	5. 総ページ数 4
3. 書名 みんなのできる医療的ケア児サポートBOOK	

1. 著者名 水上美樹, 田村文誉	4. 発行年 2022年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 16
3. 書名 疾患別嚥下障害	

1. 著者名 田村文誉	4. 発行年 2022年
2. 出版社 医歯薬出版株式会社	5. 総ページ数 11
3. 書名 小児歯科学 第6版	

1. 著者名 金子芳洋、Michael E. Groher監修、田村文誉編著、綾野理加、大久保真衣、水上美樹著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 116
3. 書名 子どもの食べる機能の障害とハビリテーション 患児指導用絵カード付き	

1. 著者名 田村文誉、水上美樹編著、高橋智、田部絢子、他著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 159
3. 書名 ダウン症の子どもの摂食嚥下ハビリテーション	

1. 著者名 小方清和、小坂美樹編著、稲田譲、尾崎努、小沢浩、横山雄士、山田裕之、三井園子、田村文誉、小口莉代、島津貴咲	4. 発行年 2021年
2. 出版社 医歯薬出版	5. 総ページ数 183
3. 書名 歯科医院が関わっていくための障害児者の診かたと口腔管理	

1. 著者名 秋山千枝子、五十嵐隆、岡明、平岩幹男編集、田村文誉、白瀬敏臣共著	4. 発行年 2021年
2. 出版社 診断と治療社	5. 総ページ数 301
3. 書名 グランドデザインから考える小児保健ガイドブック	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	菊谷 武 (Kikutani Takeshi) (20214744)	日本歯科大学・生命歯学部・教授 (32667)	
研究分担者	水上 美樹 (Mizukami Miki) (60735695)	日本歯科大学・生命歯学部・医療職員 (32667)	
研究分担者	川嶋 舟 (Kawashima Shu) (00401711)	東京農業大学・農学部・准教授 (32658)	
研究分担者	高橋 智 (Takahashi Satoru) (50183059)	日本大学・文理学部・教授 (32665)	
研究分担者	田部 絢子 (Tabe Ayako) (70707140)	金沢大学・学校教育系・准教授 (13301)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関